

ヒヤリハット及び介護事故報告について

サンリッチ三島では、介護事故予防及び介護事故再発防止のために、各部署のスタッフからヒヤリとした介護内容及び介護事故につながってしまったことなどを迅速に報告させています。そして、これらの報告書を各スタッフが共有し、介護事故防止に役立てております。今回は、平成 29 年 2 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日の間において報告されたヒヤリハットの内容(22 件)及び介護事故の内容(7 件)を開示させていただきます。なお、報告件数は合計 29 件ありました。

◆ヒヤリハット報告	◇介護事故
<p>[平成 29 年 6 月 1 日] いつもよりお元気がないご様子であったため経口補水液を持って訪室しました。「美味しい」と飲まれ「スッキリした」とのことでした。 ⇒ (改善) 今までは水分を取っていただくようお声掛けを行っていましたが、今後はスタッフが居室に伺って水分補給をしていただくことになりました。</p> <p>[平成 29 年 6 月 12 日] 車イスで入浴送迎中、スロープの下り坂に差し掛かった際にご入居者が急に靴下を脱ごうとして前のめりになり車イスから落ちそうになった。 ⇒ (改善) 車イスで移動する場合であっても急に危険な行動をとることがあることをスタッフ全員で共有し、注意をしていくことになりました。</p> <p>[平成 29 年 10 月 17 日] ご入居者がお一人で介護センターを出て行かれたことに気がませんでした。 ⇒ (改善) 今回、職員が部屋を離れた僅かな時間に起きてしまいました。今後部屋を離れる時は職員同士がしっかり連携するよう再確認をしました。又、必要に応じて他部署から応援を依頼することになりました。</p> <p>[平成 29 年 11 月 20 日] 追加された内服薬を違う日の薬袋にセットしてしまいました。スタッフが間違いに気がし誤薬には至りませんでした。 ⇒ (改善) 追加された薬を袋に入れたときにダブルチェックを怠ったために起きたヒヤリハットでした。薬を扱うときはどんな時でも必ずダブルチェックを必ず行うよう再指導をしました。</p>	<p>[平成 29 年 7 月 11 日] 起床時に着替えをしていたとき、左手甲の皮膚の剥がれと右手打撲をしているのを発見しました。 ⇒ (改善) 普段からベッド上で寝返りをうったり上下反対になったりしていたので、サイドレールに手をあててしまい発生したものと思われます。訪問回数を増やして頻繁に確認するようになりました。</p> <p>[平成 29 年 7 月 21 日] センサーマットが鳴り訪室すると、ポータブルトイレに座られていました。左腕に出血と内出血がありました。「立つ時につかまり損ねた。」と話されていました。 ⇒ (改善) センサーマットが鳴った場合には、迅速に対応することをスタッフ間で確認しました。</p> <p>[平成 29 年 7 月 28 日] ペンダントコールが鳴ったため直ぐに駆けつけると、ご入居者が車イスからずり落ちて座り込んでいました。 ⇒ (改善) トイレ介助後、日々ご自分で車イスを自走させながらベッドまで戻られていたため、今回も出来るものだと思い込んでいました。今後はベッドへ戻るまでは見守りを行う事になりました。</p> <p>[平成 29 年 9 月 3 日] 介助入浴中、ご入居者をご自分で臀部を洗っていたときにバランスを崩して右側に傾きながら転倒してしまいました。 ⇒ (改善) この方は必ず右手でタオルを使用して身体を隠しながら介助入浴を受けていたため、バランスを崩したときには、とっさに物につかまる事が難しい状況でした。ご本人とご相談をして、タオルに紐をつけて手を使わずに身体を隠せるように工夫しました。</p>